

「サイバーインシデント演習in高松」を開催 《セキュリティのインシデント対応を体験しませんか？》

- 総務省四国総合通信局は、令和7年9月16日（火）に「サイバーインシデント演習in高松」を開催し、**企業、事業者、学校関係者及び国等の機関から、経営層やセキュリティ責任者及び情報システム運用担当者など33名**の参加がありました。
- 演習は、サイバーセキュリティに関する実践的な対応力の向上を目的に実施されました。前半の講演では、近年のインシデント事例をもとに、被害を最小限に抑えるための対応ポイントを学びました。続く演習では、PCを用いた実機体験により情報漏洩や不正アクセスのリスクを疑似体感し、さらに机上演習では、サイバー攻撃の影響・被害が発注先や発注元を巻き込んで拡大した事案を題材に、インシデント対応の初動から意思決定・評価に至るまでのプロセスをグループで協議・体験し、効果的な対応への理解を深めました。

開催概要

- ・日時 令和7年9月16日(火) 13時00分～17時00分
- ・場所 サポートホール高松 61会議室（香川県高松市サポート2-1）
- ・対象 中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等
- ・主催等 主催：総務省四国総合通信局、四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）
後援：四国情報通信懇談会

プログラム

◆第1部 講演

「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」

講師：株式会社川口設計 代表取締役 川口 洋氏

最近話題になっているインシデント事例を紹介しながら、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめるインシデント対応の流れについて解説。

◆第2・3部 インシデント演習

「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」

講演の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施。机上演習として疑似的なインシデント発生対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら体験。



<川口講師>



<講演の様子>



<インシデント演習の様子>

◆総務省四国総合通信局は、経済産業省四国経済産業局とともに、地域の関係者と連携して「**四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）**」を立ち上げ、地域のセキュリティ対策向上等に取り組んでいます。本演習もその一環として実施したものです。

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>



（お問い合わせ先）四国総合通信局 サイバーセキュリティ室（089-936-5044）